

NY NOW 本年の特徴

蟬本 睦

2017年8月20(日)～23日(水)、ジャビッツセンター展示場にて、ギフト・ホームの展示会、NY NOW が開催されました。概要については、昨年10月号でも詳しくレポートしていますので、主に今年の動向について報告させていただきます。

<開催概況>

主催者発表によれば、2400社が出展しました。来場者数は未公表ですが、これまでの発表数字からの推計では25,000人程度かと考えます。

日本貿易振興機構(ジェトロ)が27社からなるジャパンパビリオンを設けていたほか、メイドインジャパンプロジェクト、アクセントオンジャパン、リアルジャパンと様々な日本からのグループ出展もありました。他には、クリンスイブランドの三菱化学、石川県から弁当箱の株式会社竹中、奈良県から山崎実業株式会社などが出展していました。山崎実業は、主催者からアクセント・オン・デザインというもっとも華やかなカテゴリーにおいて、「Best Overall Collection(総合的に最も良いコレクション)」という賞を受賞するなど、日本企業は総じて、高い評価を得ていたと思います。

<トレンド>

NY NOWは2月、8月と年に2回開催されますが、前回の2月は出展者の減少が目につきましたが、今回は出展者、来場者数ともに戻ったのではないかと感じました。今振り返れば、トランプ政権が立ち上がってすぐの、非常に先行き不透明感が漂う中での展示会ということもあり、「様子見」となってしまったのではないかと、というトランプ大統領就任による負の影響というのが勝手な筆者の見立てです。その後、株価も順調に高値を追う展開で推移しており、それほどひどくはならないという楽観的なムードが広がってきたのではないかと考えています。弊社のお客様である多くの小売店さまも夏頃から悪くないという感触を得ているようです。

<会期中に日食も>

会期中の8月21日、アメリカの西海岸から東海岸にかけて皆既日食が観測されました。展示会場を訪れるお客様や出展者の間でもこの話題でもちぎりでした。ニューヨークは部分日食で、皆既日食ではありませんでしたが多くの来場者が外に出てしまい、展示会場が一時ひっそりとしてしまうほどでした。私も10年近く、NY NOWには参加していますが、一時とはいえ、これほど来場者が消えてしまったのは、数年前の大雪の時以来でした。



日食を見る展示会参加者

<ホリデー商戦に向けて>

ニューヨークはテニスのUSオープン、ファッションのニューヨークコレクションが9月の頭に終え、現在、国連総会の真っ只中です。国連総会が終われば、一気に気温も下がり、秋を通り越して初冬の気候となります。店舗はすでにハロウィンのデコレーション、一気に年末のホリデー商戦を迎えます。

米国は11月第3週のサンクスギビングそしてクリスマスのいわゆるホリデーシーズンに消費のピークを迎えます。今年中の小売店への売り込みはこのNY NOWの8月がほぼラストチャンスとなります。これは、NY NOWに買い付けにくる小売店もそうで、バイヤーの買い付けも真剣そのものでした。